

令和 8年度予算見積調書

課室名：河川環境課
担当名：河川環境担当
内線：5112

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P51	社会資本整備総合交付金（河川）事業費（水辺）			一般会計	土木費	河川費	河川改良費	社会資本整備総合交付金（河川）事業費	
事業期間	令和 8年度～令和10年度	根拠法令	河川法第9条第2項			針路分野施策	10 豊かな自然と共生する社会の実現 1002 恵み豊かな川との共生	SDGsゴール SDGsターゲット	11, 13, 15, 17 11-5, 13-3, 15-1,
1 事業概要 埼玉版SDGsは、「埼玉の豊かな水と緑を守り育む」を重点テーマの1つに掲げ、豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉の実現を目指している。 河川は、洪水から生命や財産を守る治水機能、生活に必要な水の確保などの利水機能を担うだけでなく、河川の持つ自然や水辺空間は生物の生息・育成環境や人々の豊かでゆとりのある生活環境を提供している。 そこで、民間事業者等とも連携し、環境、社会、経済の三側面から「豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉」の実現に向けて川の再生を実施する。				5 事業説明 (1)事業内容 推進主体の春日部市と連携し、治水上の安全・安心に寄与する河川管理施設を整備し、河川空間とまち空間が融合した賑わいある良好な空間を形成する。 (2)事業計画 市町村から民間事業者等と連携して実施する取組を公募し、利用調整協議会で利活用や維持管理、施設整備計画を検討、計画が具体化し、国土交通省水管理・国土保全局が行う河川空間のオープン化に対する支援制度「かわまちづくり計画」に登録された箇所にて整備を実施する。 (3)事業効果 地域住民が地域の川を誇りに思う「シビックプライド」の意識が醸成され、継続的な活動が実現する。 【活動指標（アウトプット）】民間事業者などによる河川空間の利活用件数を令和11年度末までに27件にする。 【成果指標（アウトカム）】県民誰もが川に愛着を持ち、ふるさとを実感できる「川の国 埼玉」の実現。					
2 事業主体及び負担区分 【国土交通省】 社会資本整備総合交付金（統合河川環境整備事業） (国1/3・県2/3)				(4)県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 利用調整協議会によって決定した民間事業者との連携。 イ 環境団体や川の国応援団との連携。					
3 地方財政措置の状況 公共事業債 充当率90%(通常分50% 財対分40%) 交付税措置 財対分50%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.5人=23,750千円									
予算額		財 源 内 訳					一般財源		前年との 対比
		国庫支出金	県 債						
決定額	270,000	90,000	180,000					0	270,000
前年額	0							0	

事業内訳書

事業名	社会資本整備総合交付金（河川）事業費（水辺）		
単位事業名	河川環境整備事業	予算額	270,000千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 河川費補助金	90,000	90,000	【国土交通省】 社会資本整備総合交付金（統合河川環境整備事業） 補助率 定額
県債・ 土木債	180,000	180,000	河川事業債
合計	270,000	270,000	

○歳出

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
工事請負費	270,000	270,000	一級河川大落古利根川（春日部市）
合計	270,000	270,000	